



岡山県はEVシフトを応援します

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、2023年度もEV車種の拡大やインフラ整備、国等によるEV購入時の補助金事業など、EVシフトを加速させる取組が進められています。岡山県でも「EV先進県」として、EVシフトに対応した産業・地域づくりへの取組の強化、さらなるEVの普及を目指しています。

全国をリードするEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指して

県では、2018年度からおおむね5年間を目途に、産学官の連携による取組を集中的に実施することで、全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指してきました。

2023年度以降も、県内自動車関連企業のEVシフトに向けた取組を積極的に支援し、各企業にEVシフトへの対応を促すとともに、EVの魅力発信や充電環境の整備等をさらに強力に推進していきます。これらの取組により、全国をリードするEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指すとともに、EVの活用による地域課題の解決を図ります。

国のEV等補助金交付台数 中四国No.1

都道府県別 補助金交付台数(2009～2021年度)

鳥取	島根	岡山	広島	山口
1,340	1,709	6,187	5,279	4,259

※次世代自動車振興センター <https://www.cev-pc.or.jp/tokei/koufuu.html>

EV、PHEV(プラグインハイブリット)、FCV(燃料電池自動車)、原付EVの「都道府県別補助金交付状況」の統計によると、補助金交付台数の合計は、中四国5県の中で岡山県がトップとなりました。

2023年度もEV・PHEVへの国の補助金継続が決定！これを機に、社用車をEVにしませんか？



2023年度 EVシフトへの対応に向けた県の取組

05 EVを活用した地域課題の解決

- ・市町村の地域づくり支援(EVを活用し、地域の課題解決に取り組む市町村を支援)

充電設備の充実や充電渋滞の解消など、充電インフラの課題解決に取り組む

04 EVを安心して利用できる環境の整備

- ・充電環境の整備等(急速充電設備及び普通充電設備の設置補助)

01 県内自動車関連企業のEVシフト対応支援

- ・EV関連部品の開発等への支援
- ・県内企業が保有する技術のPR、販路拡大を支援
- ・県内企業の保有技術等を生かした新分野進出を促進
- ・自動車関連企業の人材育成、連携促進の支援
- ・脱炭素化要請に対応するためのセミナーや研修による支援

これまでの取組で、水島での新型軽EVの製造、EVに県内自動車関連企業の部品等が採用されるなどの成果も！

EV・PHEV普及加速

02 EVシフトによる成長分野での投資や新規参入等の促進

- ・立地補助金におけるEV関連分野への優遇措置

03 EVの普及促進

- ・EVの導入支援(市町村を通じた補助事業)
- ・EVの魅力発信等
- ・公用車のEV等転換

2023年度もEVの導入・インフラ整備を支援する補助金事業の準備が進められています

一般社団法人 次世代自動車振興センターの公式HPに詳細が順次掲載されるので、ご確認ください。

一般社団法人
次世代自動車
振興センター



社用車をEVにしませんか？

ガソリン車と比べてランニングコストをおさえることができるEV。最近ではEVの車種も増え、走行性能も各段に向上しています。社用車としてEVを導入しませんか？



01 ランニングコストの削減

ガソリン車の燃費に換算すると

**軽EVは
約40km/Lに相当！**

※ガソリン小売価格：162円/L、電気料金：30円/kWh、電気自動車の交流電力消費率（電費）を124Wh/kmとして試算
※季節や走り方によって燃費（電費）は変化します

ガソリン車よりも燃費（電費）がよく、昨今の電気代の値上げをふまえても維持費が安くなります。EV用の充電設備は、約10万円（工事費込み）～と比較的安価に導入できます。

02 環境問題の改善に貢献

ガソリン車と異なり、EVは走行時に排気ガス（CO₂）を一切排出しないため、環境問題の改善、SDGsの目標達成や脱炭素社会の実現の力を握る車として注目されています。



03 EVの走行性能の向上

先進技術でEVの走行性能や航続距離が格段にアップ。力強くなめらかな加速、静粛性はEVの優れた特性です。普通充電設備で一晩充電すれば、翌朝には満充電になります。

工場・事務所の
駐車場で手間なく
簡単充電！



航続距離 180km

※使用環境や運転方法で値は異なります

三菱自動車が2022年6月に発売した軽EV「ekクロスEV」

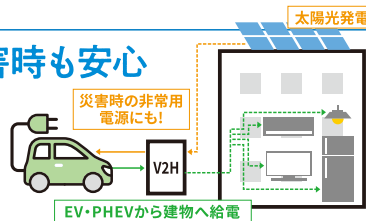
04 補助金・減税対象

新車登録や車検時にかかる自動車重量税を軽減する「エコカー減税」の期限が3年間延長に。EVや充電設備導入の補助金事業も活用すれば、さらにオトクに！

CHECK

V2Hがあれば災害時も安心

V2Hとは「Vehicle to Home」の略で、EVから事務所・事業所へ電気を供給できるシステムのこと。災害時でも、復旧までの間に電気が使えます。



EV導入インタビュー

未来と企業とEVと

株式会社ベルティス

導入のきっかけ 三菱自動車との取り引き、EV導入への補助金。

現場の声、感想 充電設備の工事思ったより安価で簡単でした。

株式会社ベルティスは、自動車業界に特化したITソリューション事業を提供しています。このたび、倉敷市水島でEVを生産している三菱自動車とご縁ができたのをきっかけに社用車として「ekクロスEV」を1台購入しました。EV本体の購入と充電設備の導入に岡山県と岡山市の両方の補助金が利用できることが分かり、まず県の担当窓口にご相談。丁寧に対応していただき、スムーズに手続きすることができました。EVの充電設備は、壁に取り付けるコンパクトなタイプだったので、場所もとらず工事もたった数時間で完了。費用は工賃込みで約10万円、さらに補助金が活用できたことも驚きました。実際、

EVの乗り心地も快適で、市内での利用がメインなので電欠の心配はありません。最近では、大型商業施設等に充電設備が増えてきていますが、事前に有料の充電カードの作成が必要だったり、給油スタンドと違って充電スポットがどこにあるのか分かりにくかったりするので、今後充電インフラのさらなる整備やEV関連の情報の発信・周知が進むとより安心ですね。

「充電設備の費用、工事の手軽さに驚きました」とスタッフ



岡山市南区泉田421-20
☎086-242-0630

今回導入した普通充電設備。夕方から充電すれば翌朝までには満充電に

